

# 出 会 い

川口所

泉水小学校 六年 宮 拓実

十月二十三日地震がおきた。ごはん前だったので家族はみんな台所にいた。ものすごいゆれとともに停電になったので、普通の地震じゃないことが分かった。ほんの少しの間かくで大きな地震がおきたが、ちよつとおさまった時に近所の人が、

「公民館に逃げろー。」

と言った。床にはいろんな物が落ちていた。戸もたおれていたけど、裸足で逃げた。荒谷中の池が破れて、荒谷の一番下である、ほくの家に泥水が入って、床上しん水になった。雨もふっていないのにどしゃぶりの音がして怖かった。

夜は眠れなかったので、岐阜から来たお客さんと話しをして、気持ち落ち着かせていた。でもときどき地震がきて怖かった。結局その夜は眠れなかった。

次の日、家に行ってみると、家の中はどろだらけで、地震のすごさを思い知った。

十一月八日学校が始まった。楽しみにしていたけど、いろいろと不自由だった。でも、東京ドームにみんなを招待されて、清原選手からサインをもらった。その他にも、メジャーリーグで活躍している大家選手が川口に来てくれて、グローブにサインをもらった。とてもうれしかったし、悪いことばかりじゃないと思った。

高校生の友達もできたり、同じ集落のあまり知らない人とも、避難所で会えてうれしかった。

この地震が起きて、いろいろな人に出会って、いろいろな人が支

えてくれた。その中でも、学さんという人に一番感謝している。なぜなら、若いボランティアの人は地震のことを「大変だったね。」と言ってくれるが、「大地震にあったこともないのに、知ったようなこと言うなよ。」と思ってしまう。でも、学さんは、自分の誕生日に阪神大震災にあつて、家がくずれて奥さんが亡くなってしまつた。自分よりつらい思いをしているので、

「がんばれよ。」

と言われると、勇気づけられた。

母が仕事で遅くなった時に、

「学さんのトラックで鍋食べないか。」

と言ってくれて、よろこんで行った。久しぶりに鍋を食べるので楽しみだった。食べてみると、今までに食べたことがないほど美味しかった。

いろいろな人が支えてくれたので、勇気づけられたし、元気になった。そのおかげで、まだ少しあわただしいが、ほとんど地震前と同じ生活にもどった。この出会いを大切にして、どこかで大地震がおきたら、中越地震の被害者として、学さんのようにボランティアに参加して、被害者を勇気づけてあげたい。